



企画展

曹洞宗の近代 と駒澤大学

2026年4月20日(月)
～11月21日(土)

展示室

0. 江戸時代の学林 ― 駒澤大学の前史 (大学史展示室)
1. 開校から大学昇格まで 駒澤大学略史
2. 曹洞宗大学校歌を作った おおうちせいらん 大内青巒
3. 駒澤大学初代学長 ぬかりやかいてん 忽滑谷快天
4. 駒澤大学坐禅の祖 さわき こうどう 澤木興道



駒澤大学禅文化歴史博物館

開館時間 | 10:00～16:30 (入館は16:15まで)
 休館日 | 土(第3土除く)・日・祝
 その他大学の定める休業日
 入館料 | 無料
 問い合わせ | 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1
 TEL (03) 3418-9610
 後援 | 世田谷区教育委員会

詳細はこちら→



関連イベント

第47回禅博セミナー
禅博でみる禅宗入門

日時 6月19日(金)
16時30分～17時50分
会場 駒澤大学駒沢キャンパス 中央講堂
講師 駒澤大学禅文化歴史博物館
小川隆館長

定員 150名

※詳細はHPをご覧ください

学芸員とめぐるギャラリーツアー

日時 5月9日(土)
10時30分 / 13時00分
会場 駒澤大学禅文化歴史博物館
定員 各回20名
※詳細はHPをご覧ください



曹洞宗の近代 と駒澤大学

駒澤大学は明治15(1882)年、麻布区北日ヶ窪(現在の六本木ヒルズ、テレビ朝日付近)の地で誕生しました。当時の校名は曹洞宗大学林専門学本校、曹洞宗の僧侶を育てることを目的としました。

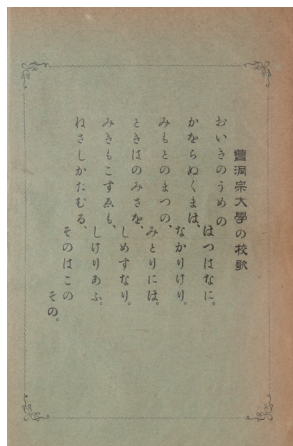
江戸時代までの曹洞宗では、一部の寺院内に僧侶を育成するための教育機関として学林が設置されました。江戸府内では吉祥寺の旃檀林、青松寺の獅子窟、泉岳寺の学寮が高名で、江戸三学林と呼ばれました。

明治時代になり、近代の教育制度が整う中で、仏教各宗派は独立した教育機関を設置し、曹洞宗の最高学府として設置されたのが曹洞宗大学林専門学本校です。その後、国の教育制度の変遷とともに、明治37年には曹洞宗大学と改称、大正2(1913)年には現在の駒沢の地へ移転し、大正14年に駒澤大学となります。

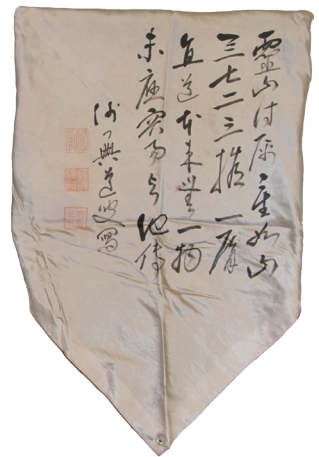
明治時代から大正、昭和時代にかけて、目覚ましい発展を遂げた本学の歴史の中には、それを支えたさまざまな人々がいました。本展示では、本学を支え、礎を築いた三人の人物、大内青巒、忽滑谷快天、澤木興道についてご紹介をいたします。



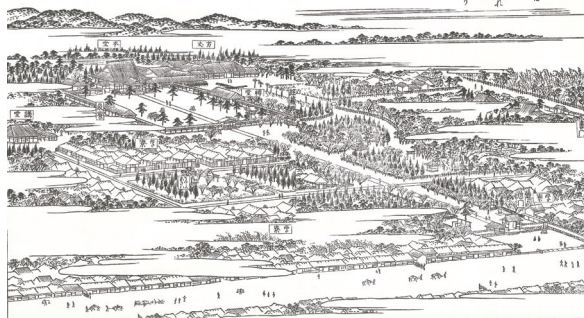
「旃檀林」扁額(複製) 当館所蔵(原品吉祥寺所蔵)



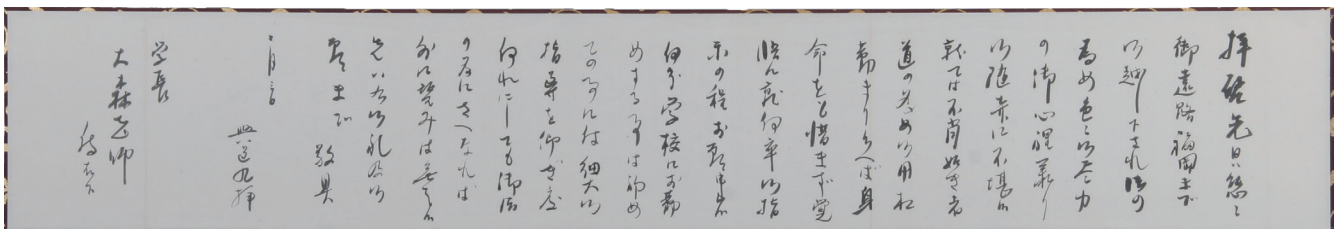
『和融誌』第12巻1月号
明治41(1908)年
本学図書館所蔵



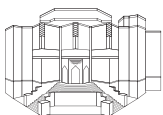
澤木興道筆 袈裟袋墨書
鈴木一馨氏所蔵



『江戸名所図会』
天保5-7(一八三四-三六)年
本学図書館所蔵



澤木興道書簡 昭和10(1935)年 当館所蔵(中條道昭氏寄贈)
本学の坐禅担当教員への着任を受諾する決意を述べた書簡



駒澤大学禅文化歴史博物館
The Museum of Zen Culture and History



詳細はこちら→



住所: 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1
電話: 03-3418-9610
開館日時: 月~金・第3土 10:00~16:30
休館: 土・日・祝 その他大学の定める休業日
アクセス: 東急田園都市線「駒沢大学」駅徒歩10分
後援: 世田谷区教育委員会